事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		りんくうマラソン大会事業				②事業番号		7623	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		昭和 60 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令		⑦実施手法		直営		⑧関連予算科目コード	
⑦実施手法		全部委託		⑧関連予算科目コード		款 9		項 6	
⑧関連予算科目コード		目 2		⑨担当部名		教育部		⑩担当課名	
⑨担当部名		生涯学習課		⑪細目		3		⑫会計	
⑩担当課名		一般会計		⑬その他		法令等の名称		—	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市民		① 人口		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
H30年度までは泉南市体育協会に対して、市が委託料を支払い、りんくうマラソン大会の準備・運営を委託していた。R元年度からは泉南市りんくうマラソン実行委員会を設立しりんくうマラソン大会の準備運営を行う。		① りんくうマラソン大会申込者(大人)		人	
種目 小学生の部男子(2km)・女子(2km) 中学生の部男子(3km)・女子(2km) 一般の部男子(8km)・女子(8km) 壮年の部男子(3km)・女子(2km) 学童の部低学年(1km)・高学年(1km) ファミリーの部(1km)		② りんくうマラソン大会申込者(子ども)		人	
		③ りんくうマラソン大会申込者(ファンランの部)		人	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
スポーツレクリエーション活動の場の機会を提供している。		① りんくうマラソン大会参加者(大人)		人	
		② りんくうマラソン大会参加者(子ども)		人	
		③ りんくうマラソン大会参加者(ファンランの部)		人	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
りんくうマラソン大会参加者の体力の増進・健康維持向上に貢献することにより、スポーツの推進を促す。		政策(章) 1: すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち			
		施策大(節) 4: だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします			
		施策中 2: 生涯学習内容の充実			
		施策小 4: スポーツの推進			

【2】各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①		人口	人	61,984	61,457	60,795	—	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①		りんくうマラソン大会申込者(大人)	人	42	49	50	100	100	
活動指標②		りんくうマラソン大会申込者(子ども)	人	277	266	150	500	500	R2年度新型コロナウイルス感染症対策により募集枠削減。
活動指標③		りんくうマラソン大会申込者(ファンランの部)	人	133	48	0	100	100	
成果指標①		りんくうマラソン大会参加者(大人)	人	42	49	49	100	100	
成果指標②		りんくうマラソン大会参加者(子ども)	人	277	266	143	500	500	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③		りんくうマラソン大会参加者(ファンランの部)	人	133	48	0	100	100	
事業費	投入人員	正職員	人	0.13	0.26	0.16	0.15		
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.15		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.04	0.00		
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	1,054	2,005	1,293	1,596		
	直接事業費	千円	623	650	1,000	450		R2年度 その他特定財源として、水なす基金からの繰入金。	
	総事業費	千円	1,677	2,655	2,293	2,046			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0			
	府支出金	千円	0	0	0	0			
	受益者負担金	千円	0	0	0	0			
	その他特定財源	千円	0	0	1,000	0			
	一般財源	千円	1,677	2,655	1,293	2,046			

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市民のスポーツ交流の場づくりのため、大会運営のノウハウを持つ泉南市体育協会に事業運営を市が委託することによって、活動向上に貢献する。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	このマラソンは子どもの参加割合が多いので、近年の少子化の影響で、子どものスポーツ競技人口が減少してきており、今後どのようにして、スポーツ競技人口を維持していくかが課題となる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[1]の評価	A
評価項目	評価及び理由・説明等						
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	多数のコース設定があり、幅広い世代の参加に繋がっておりニーズに合っている。					

[2]有効性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[2]の評価	B
②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	一定の参加者が確保されていて、スポーツに親しめる場となっている。					
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある アイ. ない	運営方法や大会開催の広報活動を活発させる。					
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	類似の目的を持つ事務事業はない。					

[3]効率性		A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[3]の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	可能なものはすでにコスト削減を行っており、困難である。					

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	市外からの参加者を増やすための広報手法の検討。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性> 	
<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	参加者を増やすため、近隣のスポーツ施設へのポスター、チラシの配布。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	-